

前原市コミュニティバス協議会

平成20年2月22日設置
平成21年3月1日連携計画策定



概要

- ・コミュニティバスの実証運行(九大線):バス交通の空白地帯である前原市北部で コミュニティバスを昨年度から実証運行を試行し、今年度は新規車両を導入し、更なる利用者増加、利便性向上を図る。
- ・コミュニティバスの実証運行(既存7路線):利便性向上のためバス交通を再編し、 持続可能な既存路線を運行試行する。

○コミュニティバスの実証運行(九大線)

○コミュニティバスの実証運行(既存6路線)

- ・九大線については、平成20年4月から運行開始しているが、16,512人(H20.4月～H21.3月)が利用し、学生・教職員の通学・通勤に欠かせない交通手段となっており、平成21年度は利用者の倍増を目指す。
- ・中山間地域においては、移動手段の確保は重要な問題であり、市の財政状況も鑑み、身の丈に合った持続可能な既存路線を実証運行する。

○車両の導入(九大線増車)

平成21年4月に九州大学教養学部が伊都キャンパスへ移転し、新たな利用者が見込めることから、九大線に1台増車することで、さらなる利用者増と利便性向上を図る。

○公共交通の利用促進策の実施

コミュニティバスの運行について、周知が十分でないため、バスのパンフレット(時刻表・系統図等)を作成し、市内全世帯、JR駅、各公共施設等に配布し、認知度向上を図り、利用促進を図る。

また、九大生等にアンケート調査をし、ダイヤ・路線等見直すことで、利便性向上を図るとともに、バスの認知度向上を図る。

そのほか、各校区単位にバス利用促進協議会を設置し、意見・要望を聞き住民の意見を反映させている。

